

# スタンドパイプ操作の指導マニュアル

(東京消防庁 「初期消火訓練の指導」より抜粋)

令和2年10月  
5若自衛消防隊

## 1. 指導のポイント

### (1) 指導目標

- ①”自分たちのみでできる”ことを目指す。
- ②活動の危険についても把握し、安全な活動ができること。

### (2) 指導のポイント

指導の際には、以下の説明をする。

- ①震災時等同時多発する火災には消防署・消防団に頼るのみでは迅速対応は困難であり、地域の人たちがスタンドパイプ操作を習得し早期対応の主力になることが期待されている。
- ②スタンドパイプは操作も簡単、一般的な消火器よりも消化能力が高く、地域を守る一員として、スタンドパイプの操作に習熟した住民が必要とされている。

### (3) 事故予防

- ①訓練に適した服装。
- ②蓋開放時は、周囲安全確認し、膝を曲げて腰をしっかりと低くして、ケガをしないよう注意。
- ③放水弁を開くときは周囲の安全を確認し、急激な操作はしないこと。
- ④通行人が消火栓の中に落ちないように注意を促す事。
- ⑤ホースが引っ張られて、スタンドパイプや吐水口が破損しないよう、ホースをしっかりと押さえること。
- ⑥各機材の結合は、しっかりと確認すること。
- ⑦放水前には、特に結合部分の点検を必ず行うこと。



## 2. スタンドパイプ操作指導計画

(1) 全体説明 ---- 操作習熟のため、以下の概要について説明。

- ①スタンドパイプとは、どこにあるの？ 仕組みは？
- ②スタンドパイプの各部・名称・役割

手軽に設定できるけど、危険な操作もあるから一つひとつ確認しながら操作しよう!!



(2) 操作手順説明

1班を次のように2係に分ける。(1班4名の場合)

※次ページの操作手順画像集と合わせ見て下さい。

	班割	役割	担当操作内容
班	吸水係	A. 吸水担当	消火栓蓋開放、スピンドルドライバー差し込み、吐水弁開放
		B. 吸水補助	スタンドパイプ本体結合、ホース結合、安全管理
	放水係	C. 放水担当	ホース延長、管そう結合、放水
		D. 放水補助	ホース延長、ホース管理、放水合図、放水補助

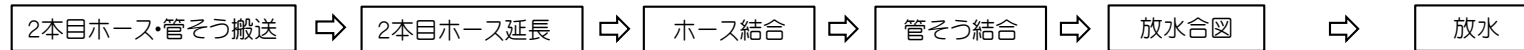
A. 吸水担当



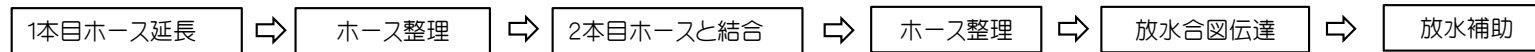
B. 吸水補助



C. 放水担当



D. 放水補助



## 操作手順画像集

### A. 吸水担当



消火栓蓋を開放



スピンドルを吐水弁に差し込む



水が出るかの確認



放水合図を確認したら、吐水弁を開放

### B. 吸水補助



スタンドパイプ本体を吐水口に差し込む



周囲の安全を確認



1本目ホースをスタンドパイプ



ホースが伸びきるまでの間、ホースが引かれすぎないようにホースを押さえる

### C. 放水担当



2本目のホースと管そうを持って、一本目のホースが伸びきる地点付近に移動し、2本目のホース延長



ホース先端に管そうを結合



「放水始め」の放水合図



先端を操作し、放水を開始、Dは、Cの背後で放水補助

### D. 放水補助



1本目のホースを延長



ホースの曲がり、ねじれなどがないかの整理



2本目(以降)のホースを結合



放水合図が届かない場所の場合は、Dが合図を伝達